

II. 調査結果

II. 調査結果

1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括

福岡市は、市民100人のうち、

98人が「福岡市のことが好き」で

97人が「福岡市は住みやすい」と感じ

93人が「福岡市にずっと住み続けたい」と願い

77人が「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」と思っている。

福岡市民は、福岡市が好きで
住みやすいから、これからも住み続けたい。
そして、人の役に立ちたいと思う。

福岡市は
好きだから住みたいまち
住むと好きになるまち
みんながやさしいまち

本意識調査では、「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」の主要指標を毎年継続的に調査し、経年変化を比較分析してきた。

「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」とも、肯定派が9割を超える高水準を維持した。

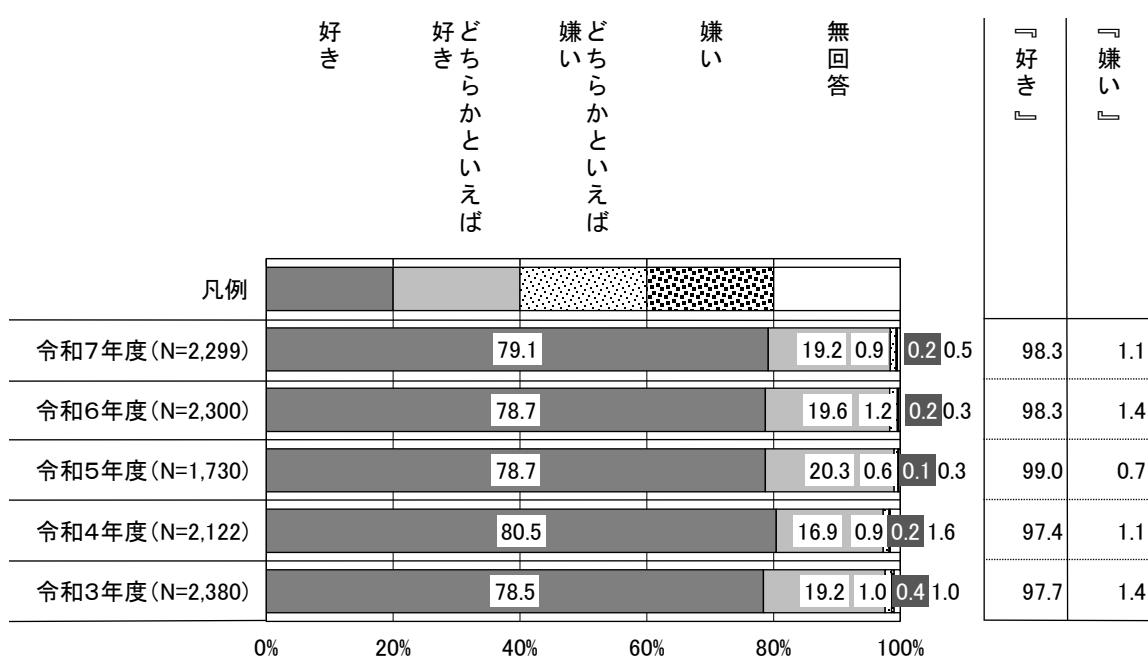
(1) 福岡市の暮らしに関する「4指標」の推移

「福岡市が好き」「福岡市が住みやすい」「福岡市にずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」という4つの結果指標（以下、4指標という）についてみる。

「福岡市が好き」については、肯定派（＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計）が98.3%と、直近5年では、前年度同様、過去最高を記録した令和5年度に次ぐ割合となった。そのうち積極的肯定の「好き」は、79.1%を占める。

わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば嫌い」＋「嫌い」の計）は1.1%であった。

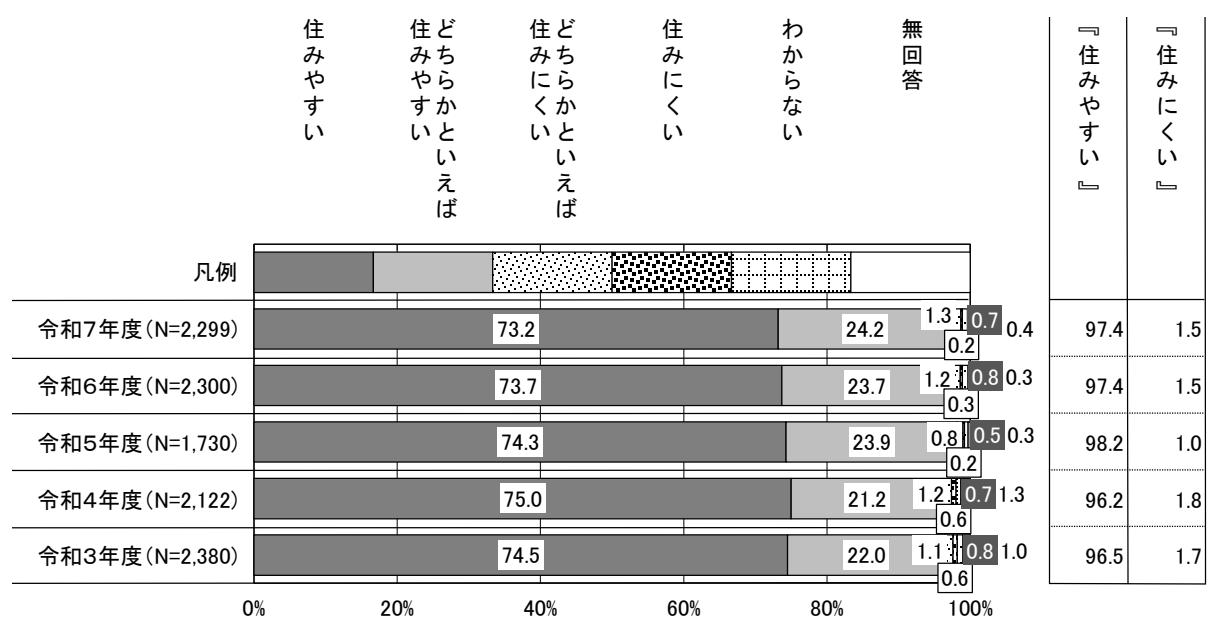
図表 福岡市が好きか【5年間の推移】



「福岡市が住みやすい」については、肯定派（＝「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の計）が97.4%で、直近5年では、前年度同様、過去最高を記録した令和5年度に次ぐ割合となった。そのうち積極的肯定の「住みやすい」が73.2%を占める。

わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば住みにくい」＋「住みにくい」の計）は1.5%であった。

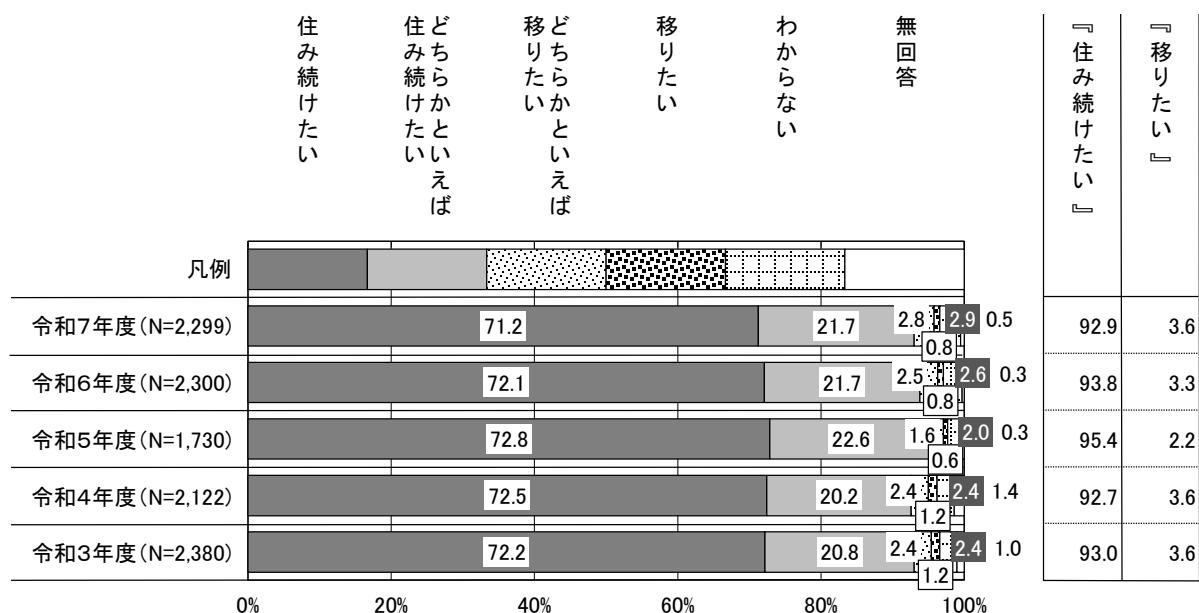
図表 福岡市は住みやすいと思うか【5年間の推移】



「福岡市にずっと住み続けたい」については、肯定派（＝「住み続けたい」＋「どちらかといえば住み続けたい」の計）が92.9%と、直近5年では、9割を超える高い水準を維持している。そのうち積極的肯定の「住み続けたい」が71.2%を占める。

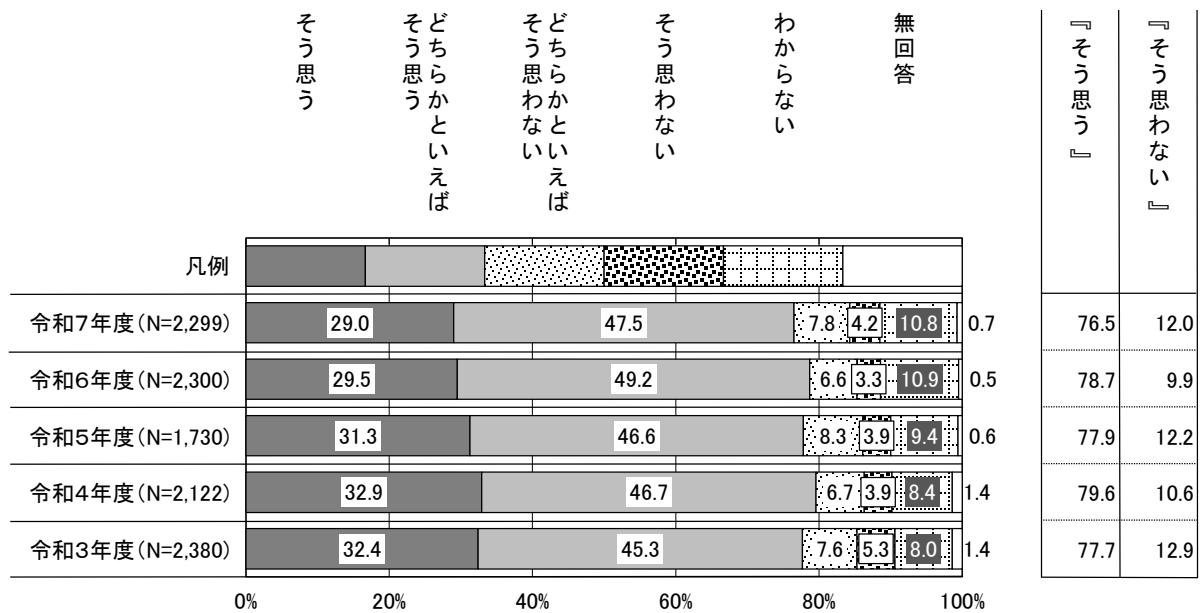
わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば移りたい」＋「移りたい」の計）は3.6%であった。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【5年間の推移】



「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」は、肯定派（＝「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」の計）が8割弱（76.5%）を占め、高い水準を維持している。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【5年間の推移】



以上のように、4指標のうち2指標が過去最高を記録した令和5年度に次ぐ高い割合となっており、多くの市民が、今の暮らしに満足し、これからも福岡市に住み続けたいと思っている。

福岡市民の価値観が多様化しても、市民一人ひとりの福岡市に対する愛着や満足度は、それぞれ高い水準を維持している。

(2) 福岡市の都市環境などの満足度（問5）

福岡市の都市環境などについて、「満足度」（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」の計）及び「不満度」（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」の計）の特徴と経年推移について述べる。

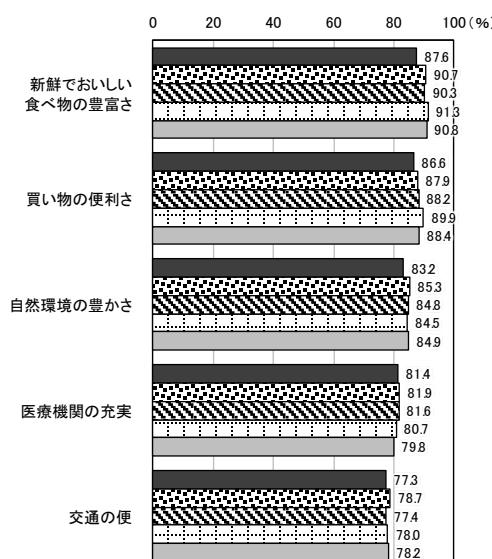
「満足度」については、上位項目の「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、「買い物の便利さ」、「自然環境の豊かさ」、「医療機関の充実」の4項目は前年度と順位は変わらず、80%を超えており、また、前年度から「交通の便」と「自然災害の少なさ」（6位）の順位が入れ替わった。さらに、上位5項目とも高い水準を維持しているものの、前年と比較し、わずかに割合は低下している。

「不満度」が高いものは、「物価の安さ」、「犯罪の少なさ」、「市民のマナー」、「レジャー・レクリエーション施設の充実」、「地域住民の連帯感の強さ」で、「物価の安さ」がワースト1位となり、「物価の安さ」、「地域住民の連帯感の強さ」を除く3項目は前年と比較し、大きな変化は見られない。

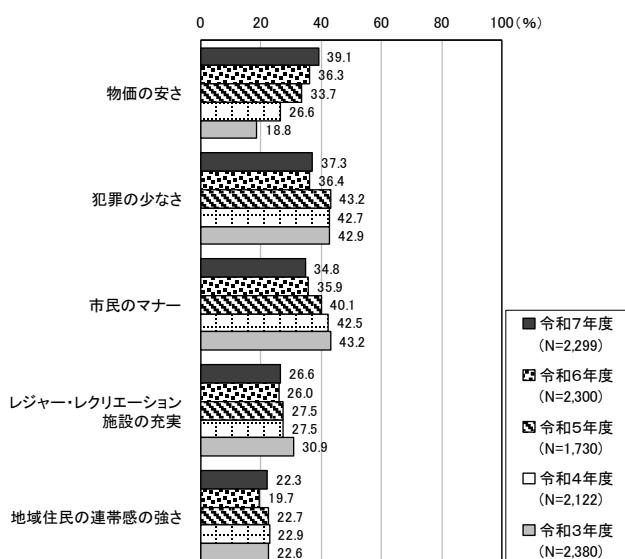
不満度が上昇した「物価の安さ」は、全国的に続く物価等の上昇が一因と考えられる。

図表 都市環境などについての満足度推移

【満足度ベスト5推移】



【不満度ワースト5推移】



(3) 「福岡市の都市環境などの満足度」と「好き」「住みやすい」との相関分析

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」について、それぞれ相関係数（下枠参照）をもとに、相関分析を行い、それぞれの評価との関係性について考察した。

※相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、-1～+1の間の数値となる。
関連性が強ければ1に近づき、低ければ0に近づく。逆に、正反対の動きであれば-1に近づく。

「福岡市が好き」と「福岡市の都市環境などの満足度」において、最も相関係数が高いのは、「子育てのしやすさ」で0.295の正の相関を示し、「人の親切や人情味」(0.273)、「住宅事情」(0.271)などが上位となった。市民が安心して暮らすための項目が、福岡市に愛着を感じる重要な要素となっている。

「子育てのしやすさ」は、前年度の2位から順位、数値とも上昇したほか、「買い物の便利さ」は前年度の11位から8位へと順位、数値とも上昇している。

「子育てのしやすさ」は、他の項目と比較して市民の満足度は高くないものの、「好き」との相関性は高い。令和2年度調査では相関係数が高く上位5項目に入っていた「地域住民の連帯感の強さ」、「自然環境の豊かさ」は、順位と数値を下げた。

図表 『好き』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問1と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和7年度	令和2年度	令和7年度	令和2年度
子育てのしやすさ	0.295	0.265	55.7	54.6
人の親切や人情味	0.273	0.357	76.1	76.0
住宅事情	0.271	0.308	71.1	76.5
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.255	0.291	87.6	90.5
教育環境	0.251	0.247	62.3	61.3
自然環境の豊かさ	0.240	0.296	83.2	84.4
交通の便	0.239	0.218	77.3	78.4
買い物の便利さ	0.233	0.199	86.6	87.8
地域住民の連帯感の強さ	0.231	0.303	49.9	51.6
就業機会の多さ	0.222	0.211	51.5	48.8
市民のマナー	0.218	0.266	52.6	47.7
福祉の充実	0.205	0.249	55.3	53.0
芸術・文化水準	0.203	0.214	65.8	65.3
医療機関の充実	0.201	0.215	81.4	78.3
物価の安さ	0.182	0.241	50.2	72.0
犯罪の少なさ	0.155	0.226	43.7	41.0
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.138	0.212	54.5	54.3
自然災害の少なさ	0.116	0.153	76.4	71.7

「福岡市は住みやすい」と「福岡市の都市環境などの満足度」の相関関係をみると、「住宅事情」で 0.337 の正の相関を示し、「子育てのしやすさ」(0.331)、「買い物の便利さ」(0.323)、「交通の便」(0.307) なども相関係数が高い。

令和 2 年度調査から数値が低下した項目が多いが、「好き」同様、「子育てのしやすさ」、「住宅事情」が上位となっている。また、「買い物の便利さ」、「交通の便」などは、前年度に比べ数値が上昇している。

子育て環境や住宅事情、教育、買い物便など、市民生活との関わりの強い都市環境に関する項目の相関係数が上位となっているのも、前年同様である。

図表 『住みやすい』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問2と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和7年度	令和2年度	令和7年度	令和2年度
住宅事情	0.337	0.357	71.1	76.5
子育てのしやすさ	0.331	0.350	55.7	54.6
買い物の便利さ	0.323	0.259	86.6	87.8
交通の便	0.307	0.268	77.3	78.4
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.284	0.318	87.6	90.5
人の親切や人情味	0.283	0.339	76.1	76.0
教育環境	0.279	0.305	62.3	61.3
自然環境の豊かさ	0.268	0.296	83.2	84.4
就業機会の多さ	0.264	0.219	51.5	48.8
医療機関の充実	0.230	0.213	81.4	78.3
地域住民の連帯感の強さ	0.225	0.300	49.9	51.6
物価の安さ	0.224	0.277	50.2	72.0
福祉の充実	0.223	0.254	55.3	53.0
市民のマナー	0.219	0.235	52.6	47.7
芸術・文化水準	0.203	0.240	65.8	65.3
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.193	0.224	54.5	54.3
犯罪の少なさ	0.186	0.203	43.7	41.0
自然災害の少なさ	0.151	0.150	76.4	71.7

2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果

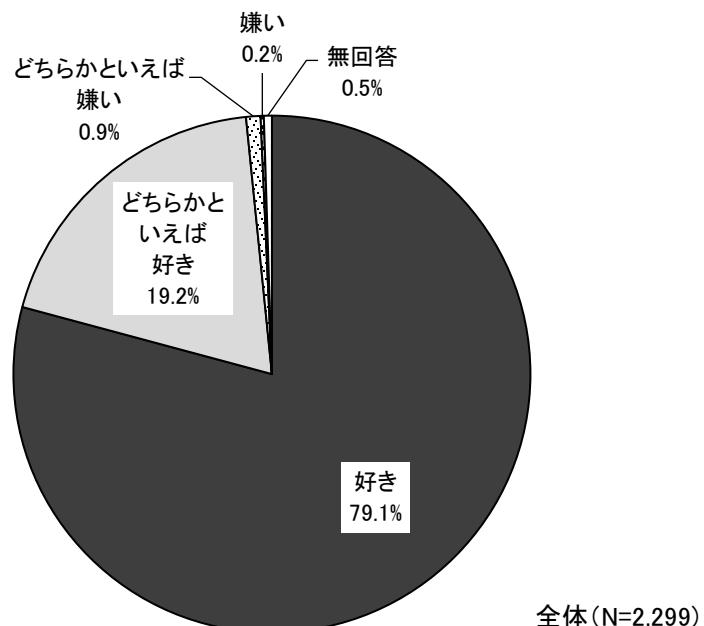
(1) 福岡市が好きか

問1 あなたは、福岡市が好きですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

福岡市が好きかについて聞いたところ、「好き」が 79.1% と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」 (19.2%) となっている。

また、『好き』 (=「好き」 + 「どちらかといえば好き」) の割合は 98.3% で 9 割台後半となっている。一方、『嫌い』 (=「嫌い」 + 「どちらかといえば嫌い」) の割合は 1.1% となっている。

図表 福岡市が好きか【全体】

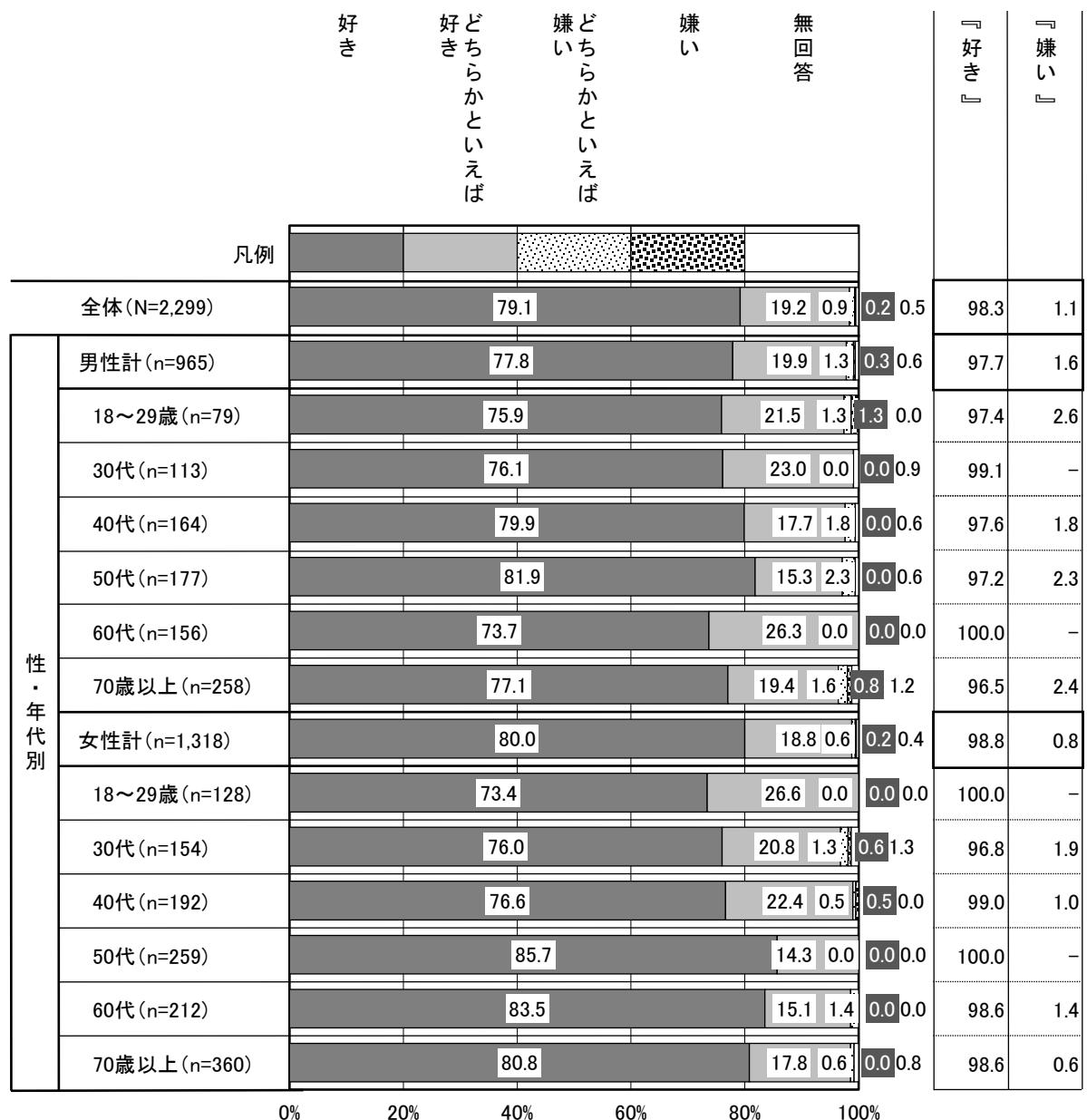


『好き』	98.3%
『嫌い』	1.1%

性別にみると、男女ともに『好き』の割合が9割を超えており、『嫌い』の割合は約1割未満です。

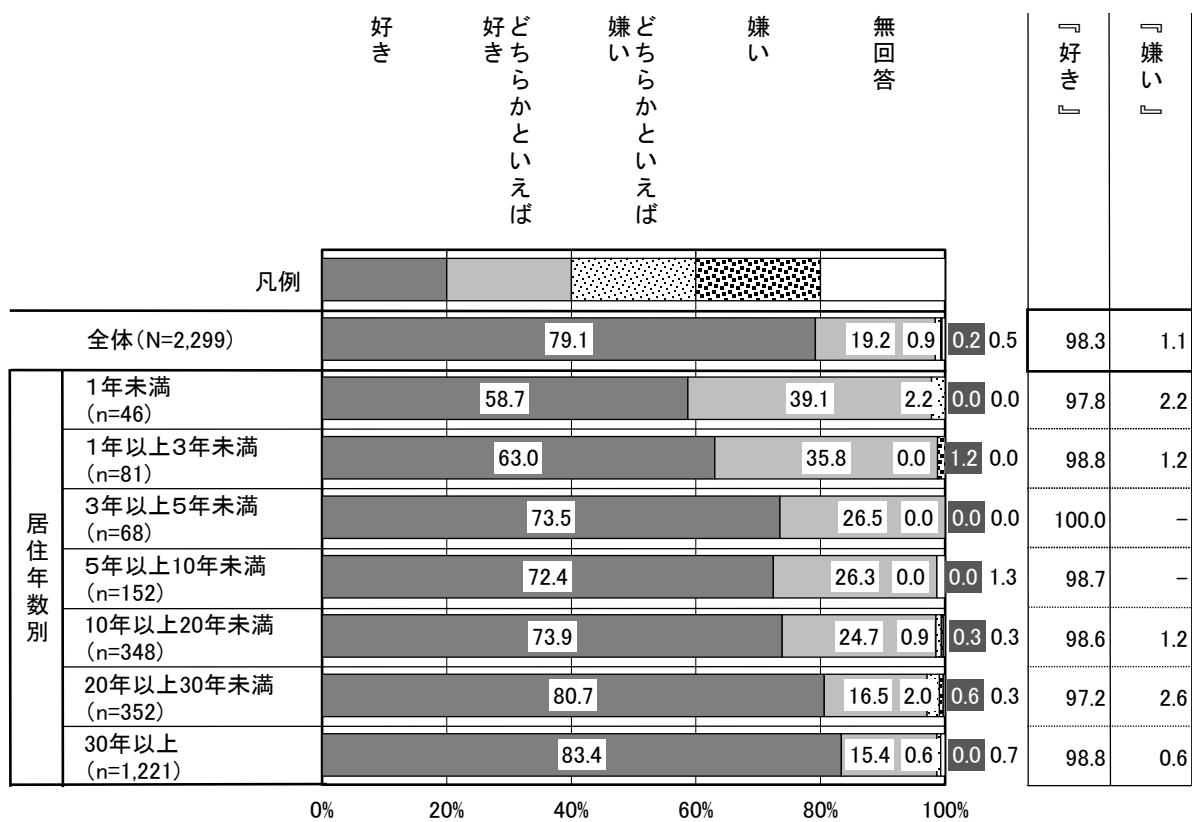
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『好き』の割合が9割を超えており、その内訳をみると、「好き」の割合は男性60代と女性18~29歳で7割強にとどまっているものの、男性50代及び女性50代以上では8割を超えており、『嫌い』の割合は約1割未満です。

図表 福岡市が好きか【性・年代別】



居住年数別にみると、概ね居住年数が長いほど「好き」の割合が高くなっています。30年以上では「好き」の割合が83.4%と最も高くなっています。

図表 福岡市が好きか【居住年数別】



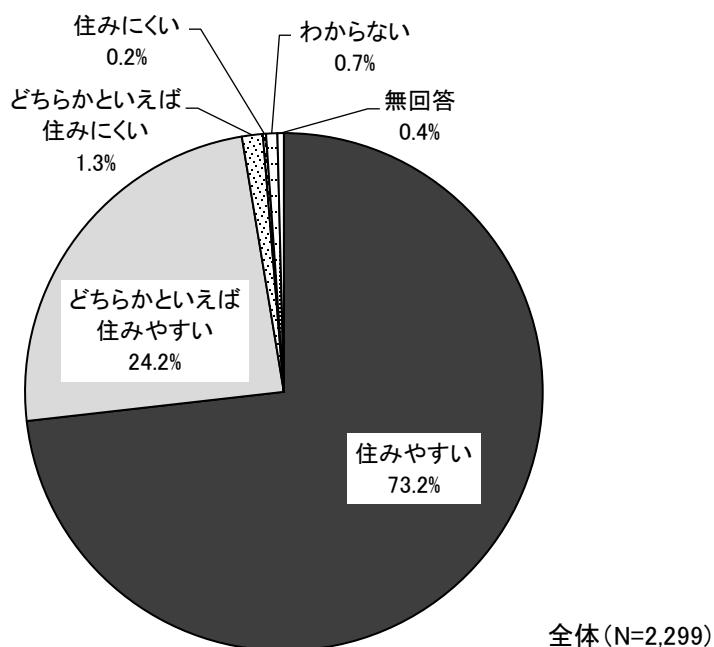
(2) 福岡市は住みやすいと思うか

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

総合的にみて、福岡市は住みやすいと思うかについて聞いたところ、「住みやすい」が 73.2% と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(24.2%) となっている。

また、『住みやすい』(=「住みやすい」 + 「どちらかといえば住みやすい」) の割合は 97.4% で 9割台後半となっている。一方、『住みにくい』(=「住みにくい」 + 「どちらかといえば住みにくい」) の割合は 1.5% となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】



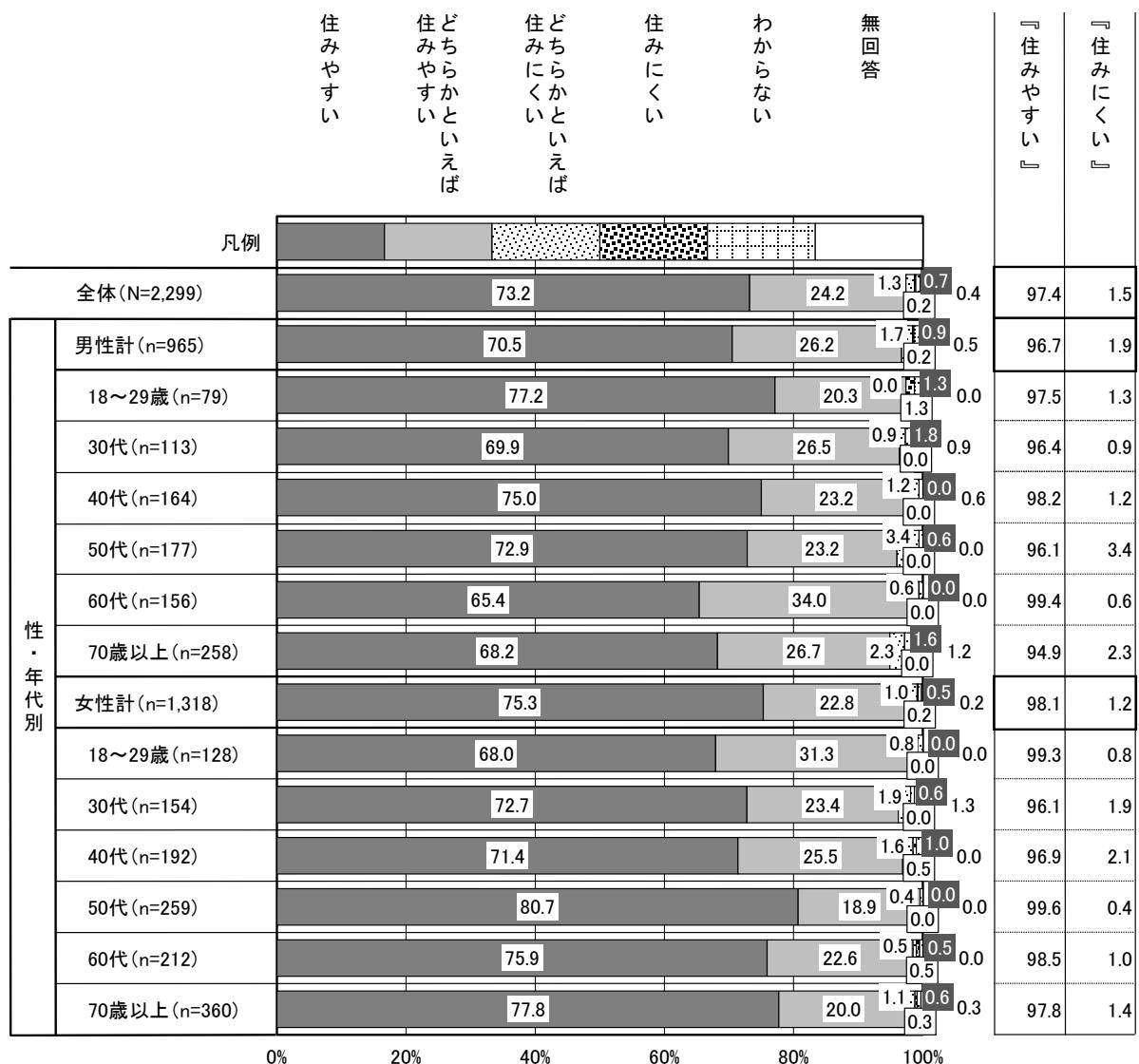
回答	割合
『住みやすい』	97.4%
『住みにくい』	1.5%

性別にみると、男女ともに『住みやすい』の割合が9割を超えていている。

性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『住みやすい』の割合が9割を超えていている。

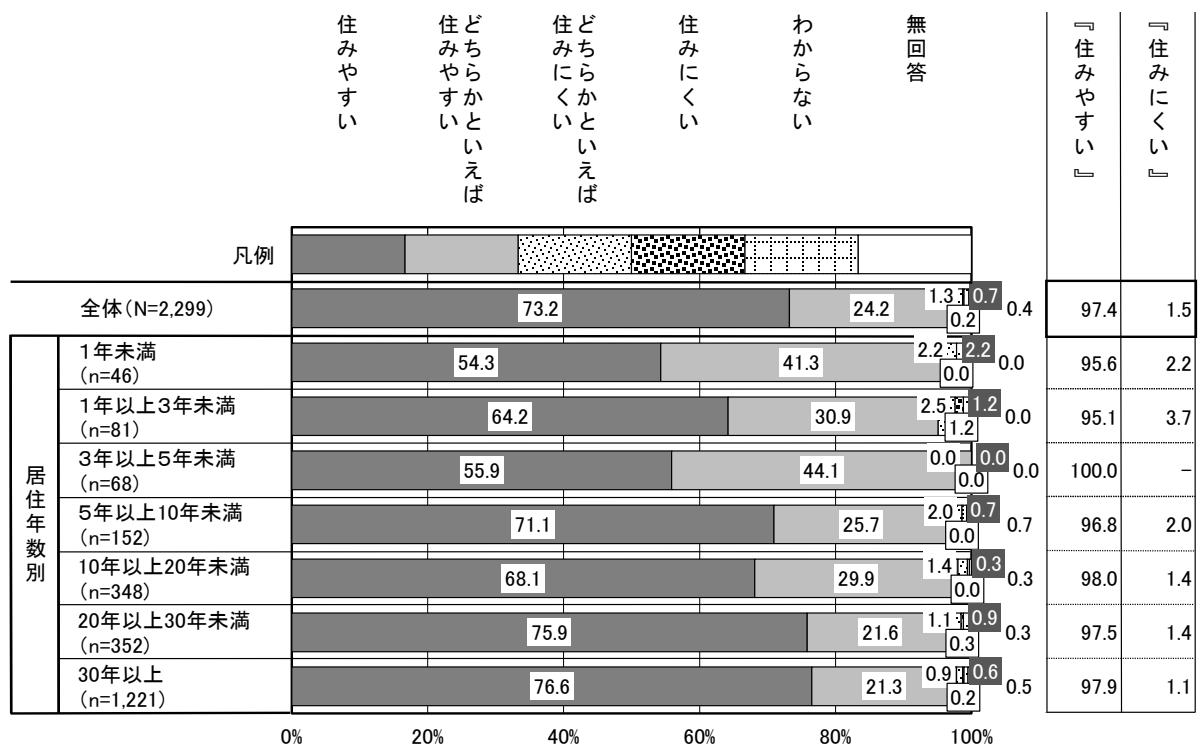
その内訳をみると、男性18~29歳、女性50代・70歳以上で「住みやすい」が約8割と、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても『住みやすい』の割合が9割を超えており、3年以上5年未満では『住みやすい』の割合が100.0%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【居住年数別】



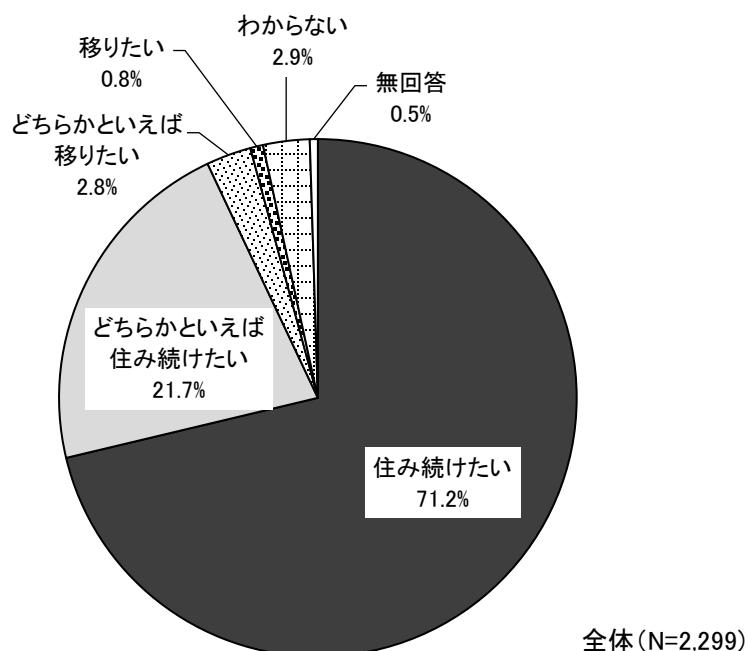
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか

問3 あなたは、事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思うかについて聞いたところ、「住み続けたい」が71.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(21.7%) となっている。

また、『住み続けたい』(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)の割合は92.9%となっている。一方、『移りたい』(=「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」)の割合は3.6%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【全体】

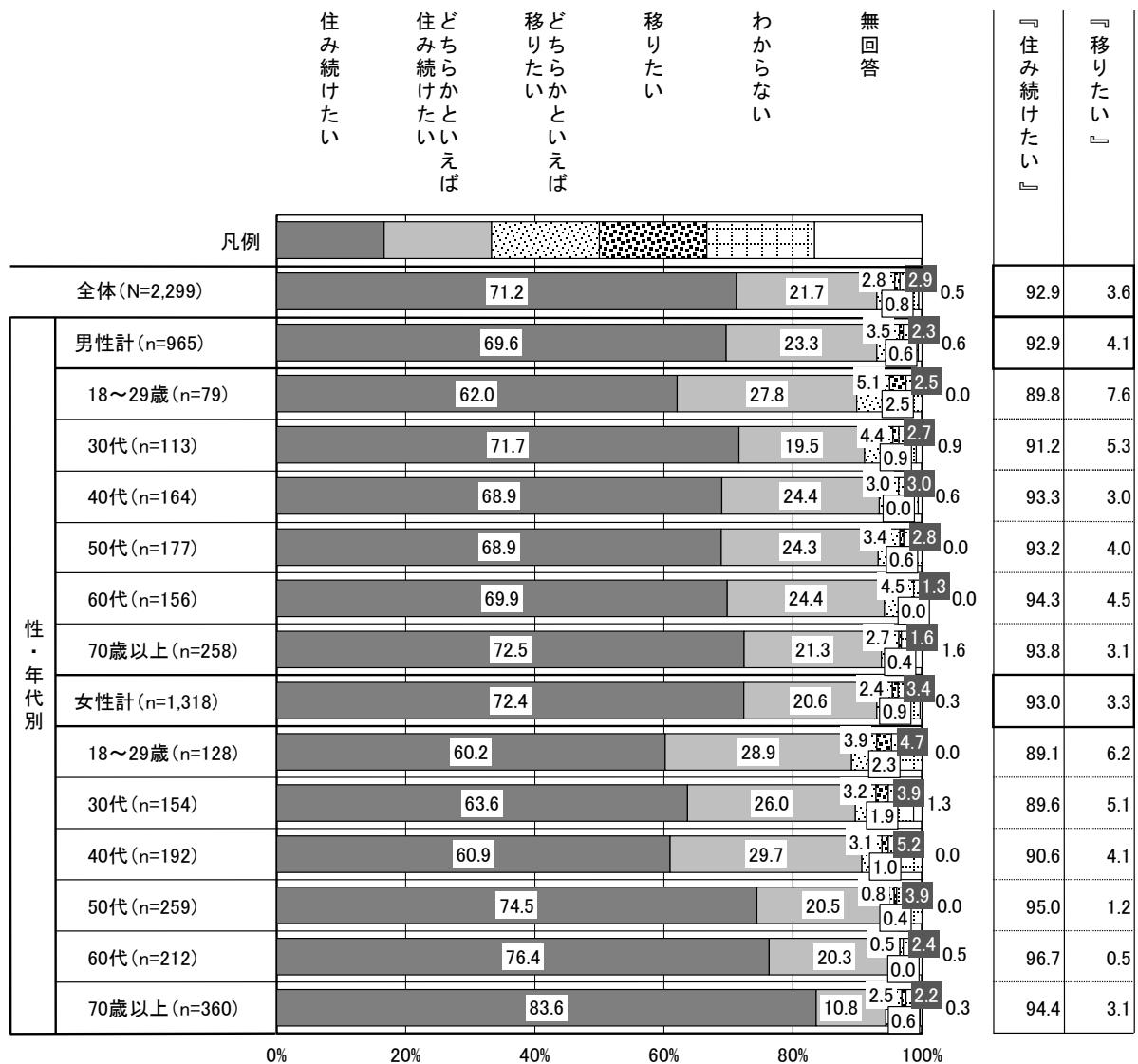


『住み続けたい』 92.9%
『移りたい』 3.6%

性別にみると、男女ともに『住み続けたい』の割合が9割を超えており。

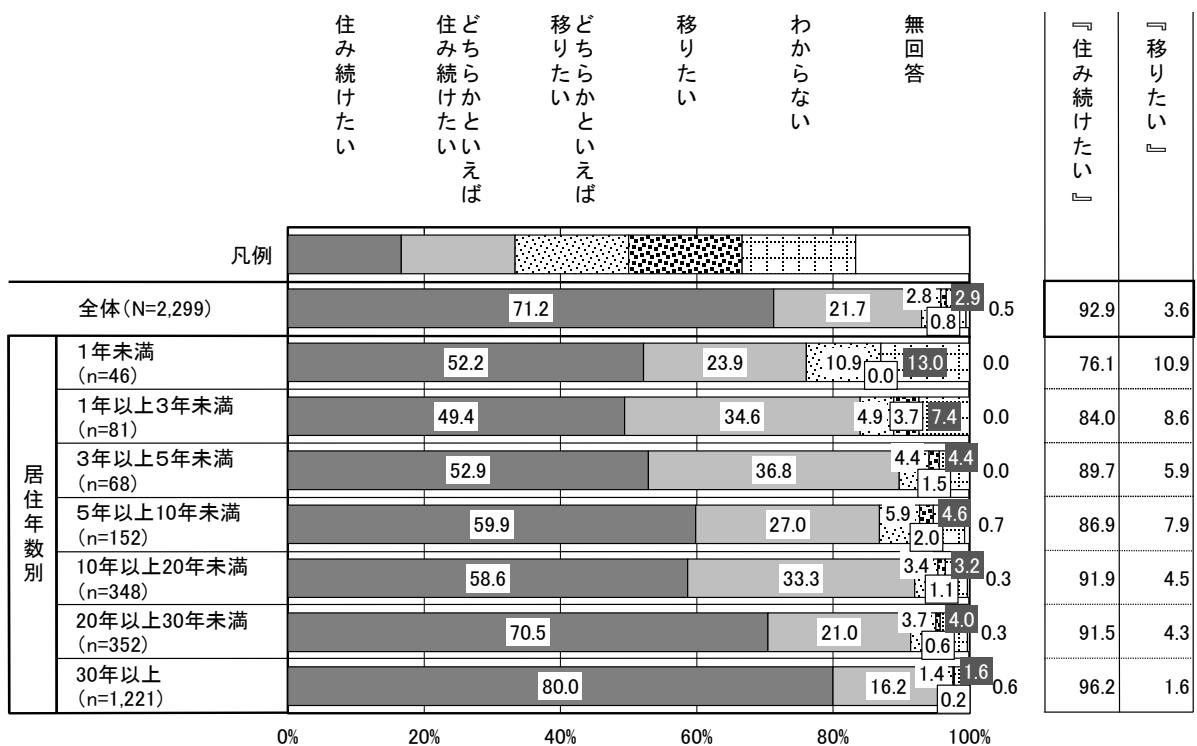
性・年代別にみると、男性30代・70歳以上、女性50代以上では「住み続けたい」の割合が7割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、概ね居住年数が長くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなり、30年以上では80.0%と最も高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【居住年数別】



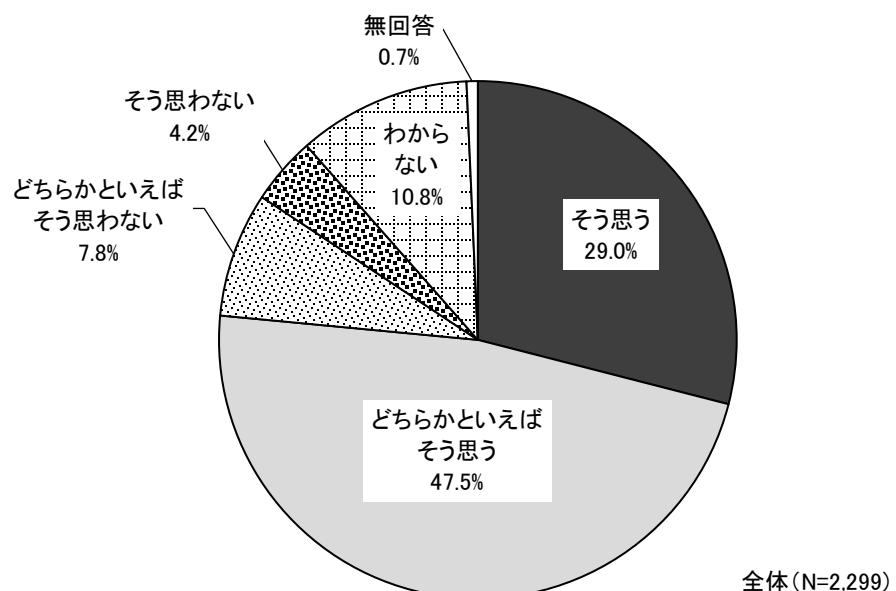
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

問4 あなたは、福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うかについて聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が47.5%と最も多く、次いで「そう思う」(29.0%)となっている。

また、『そう思う』(=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合は76.5%となっている。一方、『そう思わない』(=「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は12.0%となっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【全体】

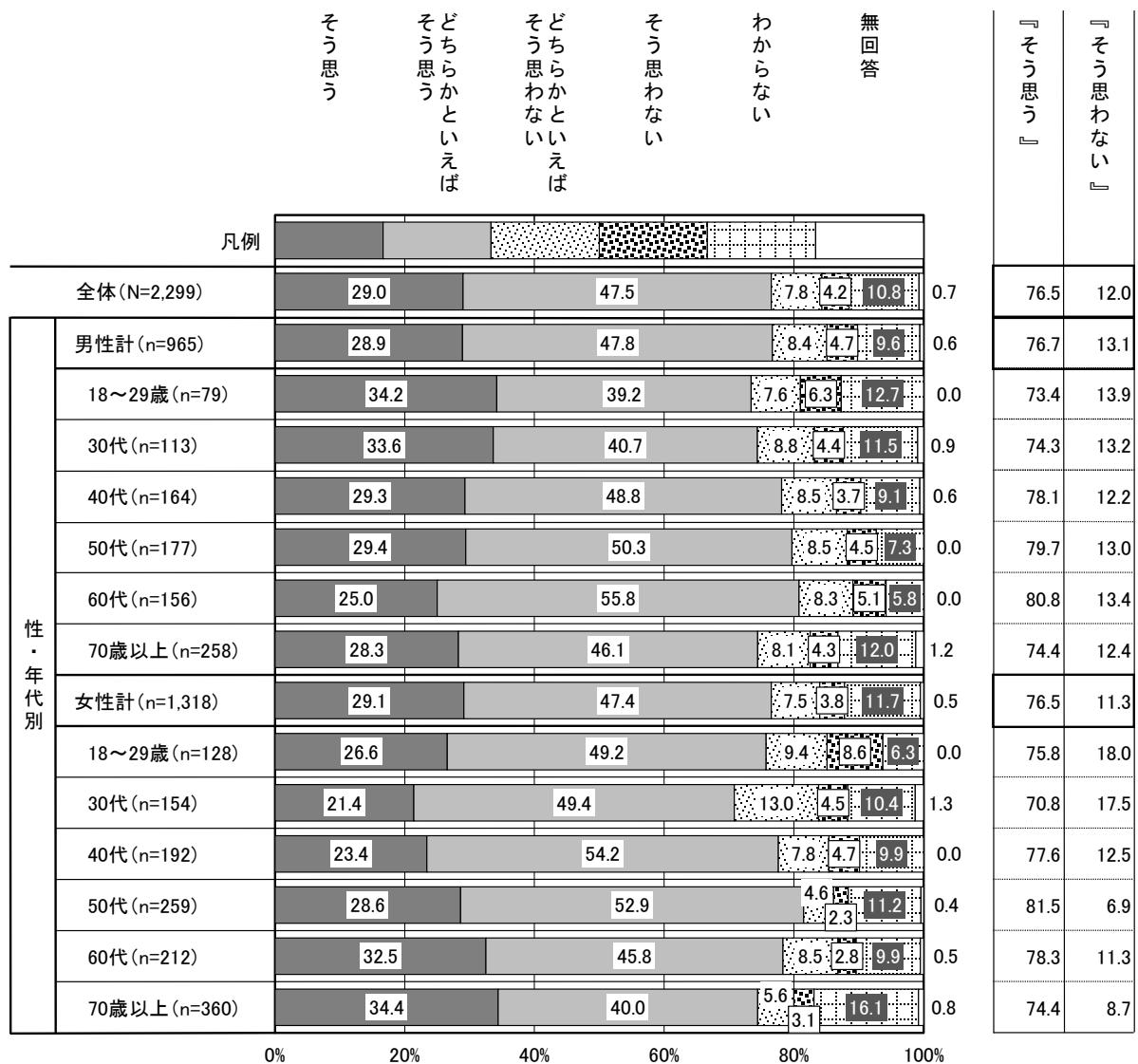


『そう思う』 76.5%
『そう思わない』 12.0%

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性60代、女性50代では、『そう思う』の割合が8割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【性・年代別】



(5) 福岡市の都市環境などに関する満足度

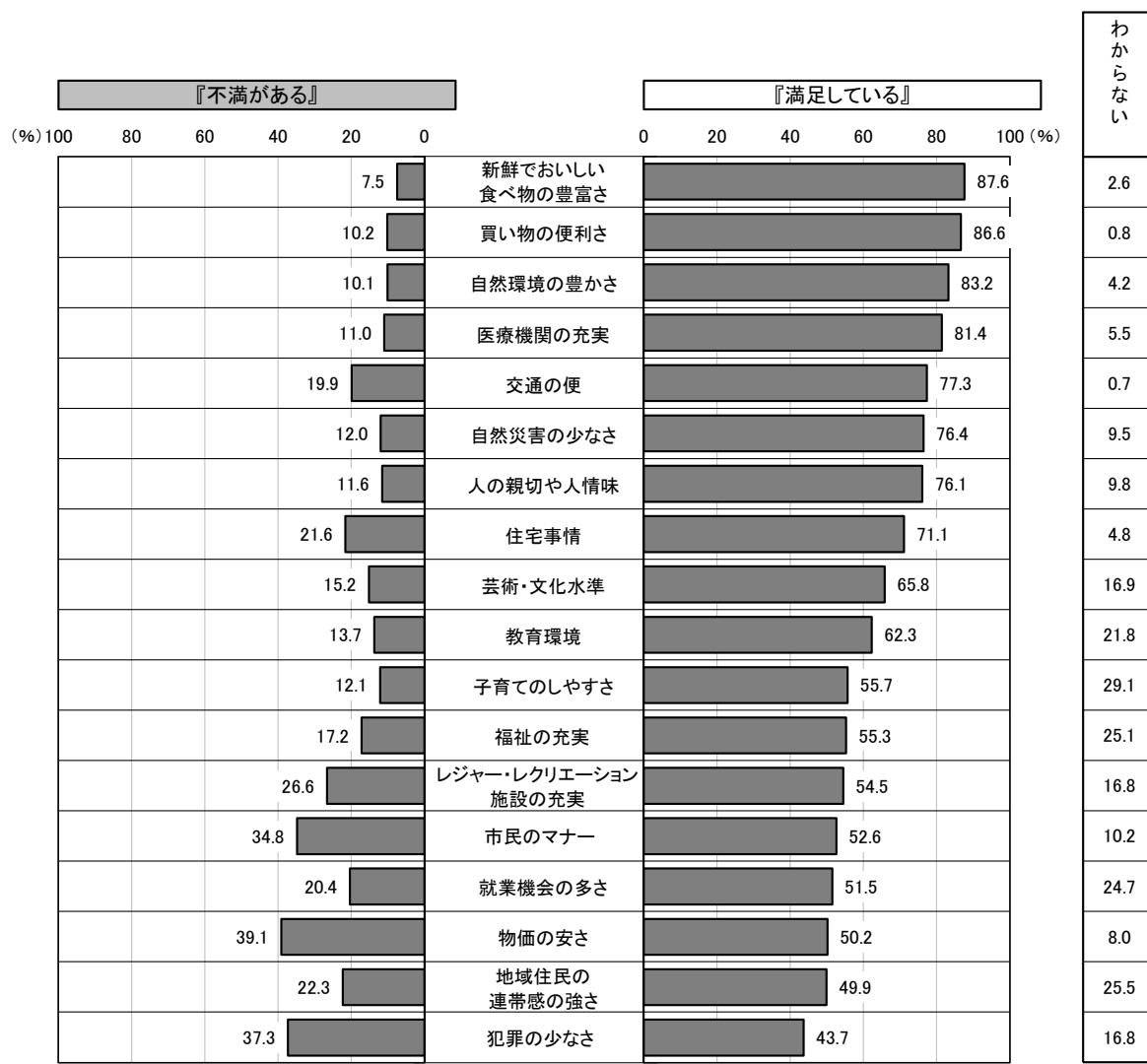
問5 以下の福岡市の都市環境などについて、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(18)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

福岡市の都市環境などで、『満足している』(=「満足している」+「どちらかといえば満足」)の割合は「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が 87.6%と最も多く、次いで「買い物の便利さ」(86.6%)、「自然環境の豊かさ」(83.2%) となっている。

一方、『不満がある』(=「不満がある」+「どちらかといえば不満」)の割合は「物価の安さ」が 39.1%と最も多く、次いで「犯罪の少なさ」(37.3%) となっている。

また、「わからない」は「子育てのしやすさ」が 29.1%と最も多く、次いで「地域住民の連帯感の強さ」(25.5%)、「福祉の充実」(25.1%)、「就業機会の多さ」(24.7%) となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【全体】



全体(N=2,299)

福岡市の都市環境などで『満足している』点について、性別にみると、男性では「買い物の便利さ」(86.9%)、女性では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」(88.6%)の満足度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性18歳～60代、女性18歳～30代では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【性・年代別】

		調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ	単位: %
全 体	性別											
全 体	2,299	83.2 (3位)	71.1	77.3 (5位)	86.6 (2位)	50.2	87.6 (1位)	65.8	62.3	55.7		
男性計	965	82.2 (3位)	70.0	75.6	86.9 (1位)	50.3	86.7 (2位)	64.3	63.3	57.2		
18～29歳	79	81.0 (5位)	74.7	82.2 (4位)	88.6 (1位)	44.3	88.6 (1位)	72.2	56.9	41.8		
30代	113	76.1 (5位)	64.6	79.7 (4位)	89.4 (1位)	51.3	89.4 (1位)	61.1	60.1	54.9		
40代	164	81.1 (4位)	69.6	75.0	90.3 (1位)	51.2	90.2 (2位)	67.1	67.7	65.9		
50代	177	85.8 (3位)	71.2	72.9	88.2 (1位)	55.3	88.1 (2位)	67.2	66.7	61.0		
60代	156	85.2 (3位)	66.0	77.6	89.8 (1位)	53.2	89.7 (2位)	57.7	60.9	57.1		
70歳以上	258	82.1 (2位)	74.4	74.0	81.4 (3位)	46.9	81.0 (4位)	64.3	64.4	57.0		
女性計	1,318	84.0 (3位)	71.8	78.7	86.7 (2位)	50.5	88.6 (1位)	67.0	61.7	54.9		
18～29歳	128	79.7 (4位)	78.9	79.7 (4位)	92.2 (1位)	50.7	85.9 (2位)	66.5	60.9	33.6		
30代	154	75.3 (5位)	63.0	79.9 (3位)	90.3 (1位)	42.2	88.4 (2位)	58.4	61.0	57.8		
40代	192	89.6 (3位)	71.4	77.6	91.6 (2位)	53.7	92.2 (1位)	70.8	61.5	62.5		
50代	259	86.8 (2位)	70.3	78.4	86.5 (3位)	57.2	90.3 (1位)	69.9	56.0	54.8		
60代	212	86.3 (2位)	70.8	79.7	84.9 (3位)	49.5	91.0 (1位)	70.8	63.2	57.5		
70歳以上	360	82.7 (2位)	75.6	78.6	82.5 (3位)	48.3	85.8 (1位)	64.8	66.1	55.6		

		就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	施設の充実・クリエーション	単位: %
全 体	性別										
51.5	81.4 (4位)	55.3	76.1	49.9	76.4	43.7	52.6	54.5	54.5	全 体	
53.8	82.0 (4位)	57.3	73.0	50.5	76.3 (5位)	44.9	51.2	56.5	56.5	男性計	
58.3	83.6 (3位)	55.7	69.6	49.4	72.1	44.3	51.9	62.0	62.0	18～29歳	
54.0	82.3 (3位)	50.4	70.8	41.6	70.8	36.3	49.5	62.8	62.8	30代	
56.7	86.6 (3位)	57.3	75.0	51.9	76.8 (5位)	39.7	52.4	59.2	59.2	40代	
56.5	79.6 (4位)	57.1	75.7 (5位)	58.2	70.1	36.1	45.2	53.7	53.7	50代	
53.9	82.7 (4位)	50.6	72.4	46.8	78.9 (5位)	49.4	47.4	50.6	50.6	60代	
50.0	80.6 (5位)	64.8	73.6	52.0	83.7 (1位)	55.8	58.6	56.2	56.2	70歳以上	
50.3	81.2 (4位)	54.2	78.7 (5位)	49.5	76.6	42.8	53.7	53.3	53.3	女性計	
54.7	82.8 (3位)	53.1	75.8	50.8	69.5	31.3	54.7	46.9	46.9	18～29歳	
58.4	79.2 (4位)	48.7	73.3	46.7	72.0	29.9	45.5	51.3	51.3	30代	
52.7	81.7 (4位)	50.5	79.7 (5位)	46.3	70.9	39.1	55.2	57.8	57.8	40代	
54.9	84.1 (4位)	49.8	82.2 (5位)	51.8	74.6	36.6	52.1	55.2	55.2	50代	
50.0	81.2 (5位)	53.8	79.7	47.6	82.1 (4位)	45.3	54.2	53.3	53.3	60代	
41.1	79.4 (5位)	62.7	78.3	52.8	82.5 (3位)	56.9	57.0	53.0	53.0	70歳以上	

福岡市の都市環境などで『満足している』点について、行政区別にみると、東区、南区、早良区、西区では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、博多区、中央区では「買い物の便利さ」、城南区では「医療機関の充実」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【行政区別】

調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ	単位: %
									子育てのしやすさ	
全 体	2,299	83.2	71.1	77.3	86.6	50.2	87.6	65.8	62.3	55.7
東区	464	84.5	72.8	76.6	86.2	48.7	87.5	65.1	62.3	56.2
博多区	304	72.0	62.5	79.9	85.9	48.7	83.9	58.2	51.6	44.1
中央区	302	84.4	66.5	84.8	90.1	50.0	88.7	67.5	61.3	54.0
南区	393	81.9	72.8	74.3	84.0	54.4	87.8	66.4	63.6	53.2
城南区	174	81.1	78.1	72.4	89.7	43.7	87.3	71.9	66.1	60.9
早良区	339	86.7	70.2	79.7	87.0	50.4	87.3	72.0	66.7	60.8
西区	308	90.2	76.3	73.0	86.7	53.2	91.6	62.7	66.5	64.0

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	施設の充実	単位: %
									単位: %
51.5	81.4	55.3	76.1	49.9	76.4	43.7	52.6	54.5	全 体
51.5	81.4	57.5	74.2	50.7	74.8	43.1	55.4	56.7	東区
52.6	78.3	52.3	72.3	42.1	68.4	37.9	45.7	52.7	博多区
50.4	77.9	53.6	71.5	51.0	72.5	43.4	50.0	51.6	中央区
51.9	84.2	58.3	81.2	52.9	78.4	45.1	52.9	55.2	南区
52.9	89.7	57.5	76.4	49.4	80.5	44.8	56.3	55.8	城南区
52.6	80.5	54.9	77.0	47.5	81.1	45.4	51.3	54.6	早良区
50.9	81.2	53.3	79.9	54.5	80.2	45.8	56.5	55.9	西区

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、性別にみると、男性は「犯罪の少なさ」(38.9%)、女性は「物価の安さ」(39.2%)の不満度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性30代～50代、女性18歳～50代では「犯罪の少なさ」、男性18～29歳・70歳以上、女性60代～70歳以上では「物価の安さ」、男性60代では「市民のマナー」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【性・年代別】

調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ	単位: %																		
										全 体	男 性 計	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	女 性 計	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上				
全 体	2,299	10.1	21.6	19.9	10.2	39.1 (1位)	7.5	15.2	13.7	12.1																		
男性計	965	10.7	22.8	20.8	9.4	38.6 (2位)	7.8	16.0	14.0	13.9																		
18～29歳	79	12.6	21.5 (5位)	15.2	8.8	46.9 (1位)	7.6	8.8	15.2	12.7																		
30代	113	12.4	30.9 (4位)	19.5	8.9	37.2 (3位)	7.1	15.1	12.4	10.7																		
40代	164	12.8	26.2 (5位)	22.5	7.9	39.6 (3位)	6.7	13.4	14.0	13.4																		
50代	177	9.6	22.0	24.3	9.6	36.7 (3位)	9.0	17.5	14.1	14.1																		
60代	156	12.2	28.2	20.5	8.3	40.4 (2位)	7.0	25.0	19.9	19.8																		
70歳以上	258	7.8	14.0	19.0	10.8	35.7 (1位)	8.6	13.6	9.3	10.9																		
女性計	1,318	9.7	20.9 (5位)	19.0	10.8	39.2 (1位)	7.0	14.6	13.3	10.9																		
18～29歳	128	15.6	15.7	19.6	7.1	43.8 (1位)	10.2	18.0	12.5	10.2																		
30代	154	20.1	31.8 (4位)	19.5	9.0	52.6 (2位)	8.4	20.1	12.3	11.6																		
40代	192	5.8	25.0 (5位)	20.8	7.3	39.5 (2位)	6.2	14.6	15.7	9.9																		
50代	259	8.5	21.3	18.5	10.4	32.8 (3位)	4.3	13.6	18.2	15.0																		
60代	212	8.0	24.5 (5位)	18.0	13.7	39.2 (1位)	7.6	15.0	15.6	12.3																		
70歳以上	360	6.9	13.1	18.1	12.5	36.2 (1位)	6.9	11.6	7.8	7.8																		

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	施設のヤード・レクリエーション	単位: %
									全 体
20.4	11.0	17.2	11.6	22.3 (5位)	12.0	37.3 (2位)	34.8 (3位)	26.6 (4位)	全 体
21.0	11.0	18.6	13.4	24.8 (5位)	12.5	38.9 (1位)	37.8 (3位)	27.1 (4位)	男 性 計
13.9	8.8	13.9	16.4	19.0	7.6	33.0 (3位)	36.7 (2位)	24.1 (4位)	18～29歳
22.1 (5位)	11.5	11.5	14.1	18.6	14.1	48.7 (1位)	40.7 (2位)	19.5	30代
18.9	8.5	17.0	13.4	25.0	13.4	47.5 (1位)	41.5 (2位)	28.7 (4位)	40代
21.4	13.0	19.7	14.2	26.0 (5位)	19.2	52.5 (1位)	46.9 (2位)	33.4 (4位)	50代
26.3	14.7	30.2	14.7	31.4 (5位)	14.1	38.4 (3位)	41.7 (1位)	33.3 (4位)	60代
20.1	9.7	16.7	10.5	25.2 (3位)	6.6	21.7 (5位)	25.6 (2位)	22.9 (4位)	70歳以上
20.1	10.9	15.8	10.1	20.4	11.5	36.1 (2位)	32.6 (3位)	26.3 (4位)	女性計
15.6	7.0	8.6	15.6	21.9 (5位)	16.4	43.8 (1位)	33.6 (4位)	35.2 (3位)	18～29歳
17.5	14.3	14.9	15.5	19.4	11.0	53.9 (1位)	45.5 (3位)	29.9 (5位)	30代
23.4	12.5	14.1	10.4	15.6	16.1	40.1 (1位)	31.8 (3位)	27.1 (4位)	40代
24.7 (5位)	10.1	18.5	8.1	19.0	15.4	43.6 (1位)	35.2 (2位)	29.0 (4位)	50代
21.7	10.4	18.4	10.8	23.1	10.4	33.4 (3位)	35.3 (2位)	27.8 (4位)	60代
16.4	10.8	16.1	6.6	21.6 (3位)	5.0	20.3 (4位)	24.1 (2位)	18.4 (5位)	70歳以上

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、行政区別にみると、東区、南区、城南区、早良区、西区では「物価の安さ」、博多区、中央区では「犯罪の少なさ」の不満度が最も高くなっている。

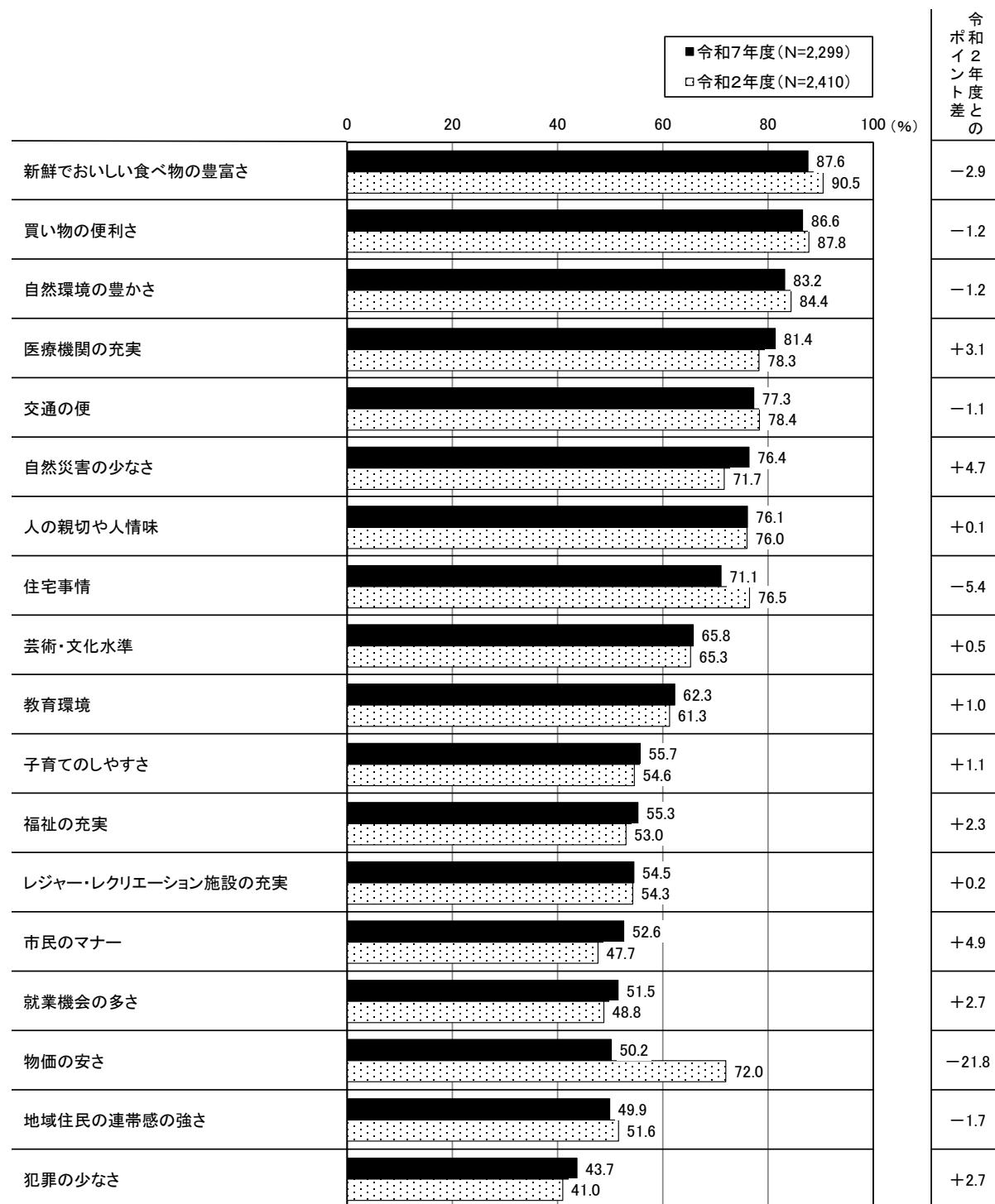
図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【行政区別】

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ	単位: %
											全 体
全 体	2,299	10.1	21.6	19.9	10.2	39.1	7.5	15.2	13.7	12.1	
東区	464	9.3	19.8	20.7	11.0	42.2	7.7	14.7	13.8	11.2	
博多区	304	16.1	27.6	16.1	10.2	38.8	9.9	14.8	10.9	12.2	
中央区	302	11.6	26.5	13.6	7.3	40.1	7.3	21.8	12.3	11.9	
南区	393	10.9	19.4	22.6	12.5	36.4	7.6	15.8	15.6	15.2	
城南区	174	10.3	15.5	23.6	7.4	41.9	8.0	10.9	11.5	6.9	
早良区	339	7.4	23.5	18.6	10.9	38.9	7.7	12.9	14.1	13.6	
西区	308	5.9	18.8	23.7	10.0	35.4	4.2	14.3	15.3	11.7	

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	施設の充実	レクリエーション	単位: %
										全 体
20.4	11.0	17.2	11.6	22.3	12.0	37.3	34.8	26.6		全 体
17.9	11.8	14.9	13.4	23.5	12.0	36.0	32.2	24.0		東区
19.1	11.6	13.2	10.5	21.4	16.1	43.7	40.8	23.7		博多区
26.2	13.6	19.2	15.6	20.2	13.9	40.4	38.1	31.2		中央区
20.6	8.7	17.1	8.7	21.2	12.7	35.7	33.8	26.9		南区
19.0	8.0	16.7	12.0	25.8	10.3	37.3	32.7	21.8		城南区
19.7	10.6	19.2	12.9	25.3	8.2	35.7	35.1	28.9		早良区
21.8	12.0	20.4	8.1	20.1	10.1	35.1	32.5	28.9		西区

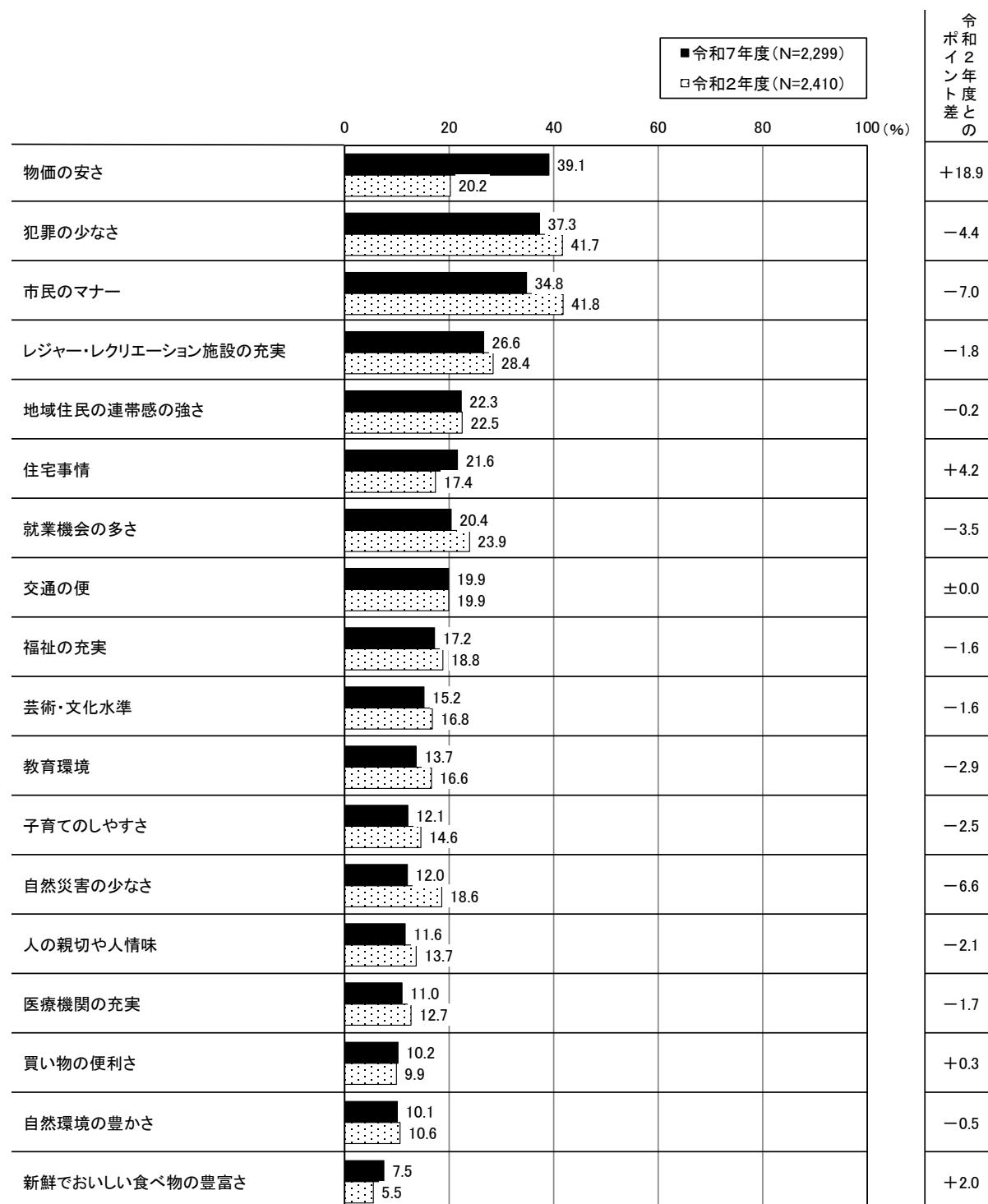
満足度について、過去の調査結果と比較すると、令和7年度は令和2年度に比べて、満足度が高くなった項目が11項目、低くなった項目が7項目となっている。令和2年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「市民のマナー」が4.9ポイント増加、次いで「自然災害の少なさ」が4.7ポイント増加、「医療機関の充実」が3.1ポイントの増加となっている。逆に「物価の安さ」は21.8ポイントの減少となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【過去の調査との比較】



不満度について、過去の調査結果と比較すると、令和7年度は令和2年度に比べて、不満度が低くなった項目が13項目、高くなった項目が4項目となっている。令和2年度と比べてポイントの差が大きいものについてみると、「市民のマナー」が7.0ポイント減少、「自然災害の少なさ」が6.6ポイント減少となっている。逆に、「物価の安さ」が18.9ポイント増加している。

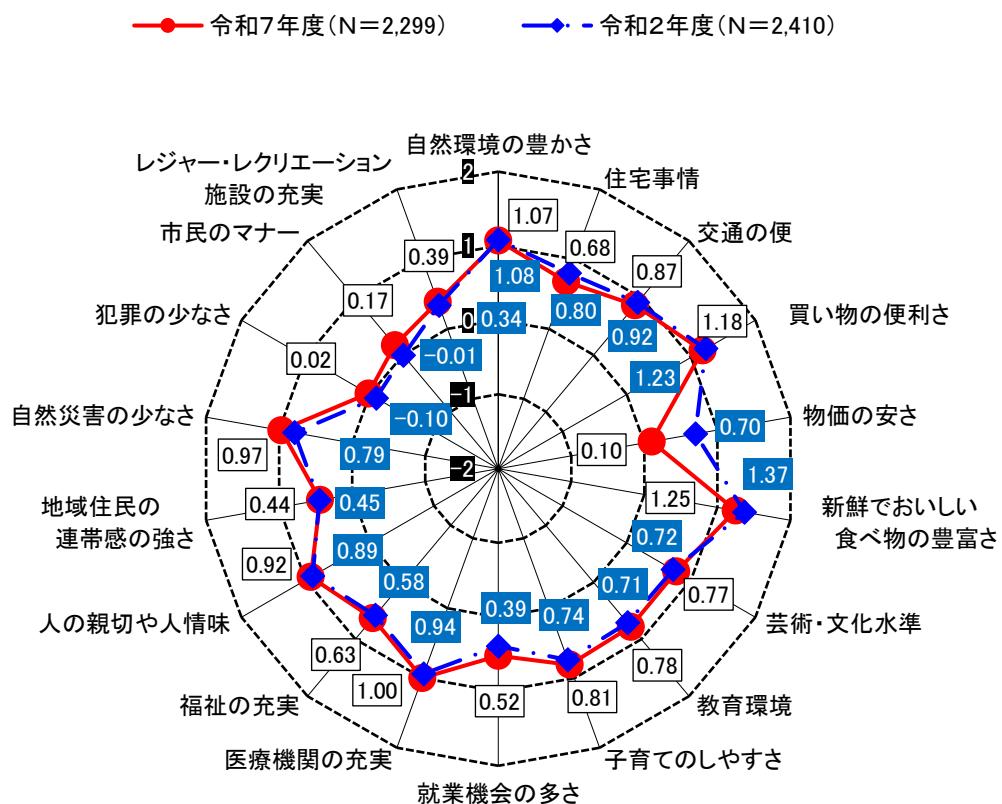
図表 福岡市の都市環境などに関する不満度【過去の調査との比較】



福岡市の都市環境などの満足度について、平均評定値[※]を過去の調査結果と比較すると、「自然環境の豊かさ」「買い物の便利さ」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は令和2年度と令和7年度のどちらも平均評定値が1.00を超えており、また、「犯罪の少なさ」「市民のマナー」は令和2年度では平均評定値がマイナスとなっていたが、令和7年度ではプラスに転じている。

また、令和7年度は令和2年度と比べ、18項目中11項目でポイントが上がっている。特に「自然災害の少なさ」、「市民のマナー」(ともに+0.18)、「就業機会の多さ」(+0.13)、「犯罪の少なさ」(+0.12)の数値が向上している。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】



※平均評定値について

イメージ等、通常は数値的に評価することができないものを定量的に評価するため、「満足している」: +2点、「どちらかといえば満足」: +1点、「どちらかといえば不満」: -1点、「不満がある」: -2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定（好意）的」、逆に-2点に近いほど「否定（非好意）的」であることを示す。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】

単位:点

調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ	
令和7年度	2,299	1.07	0.68	0.87	1.18	0.10	1.25	0.77	0.78	0.81
令和2年度	2,410	1.08	0.80	0.92	1.23	0.70	1.37	0.72	0.71	0.74
就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	施設の充実	レジャー・レクリエーション	
0.52	1.00	0.63	0.92	0.44	0.97	0.02	0.17	0.39	令和7年度	
0.39	0.94	0.58	0.89	0.45	0.79	-0.10	-0.01	0.34	令和2年度	

※網掛けは「0.00」から最も遠い数値を行っている